

一般社団法人 機密情報抹消事業協議会
平成 27 年度第 2 回理事会議事録

日 時: 平成 27 年 9 月 29 日(火) 14:00~16:00
場 所: 王子ホールディングス 405 会議室
理事総数: 4 名、定足数 2 名
出席者: 4 名
(出席) 大久保薫、昇塚清謙、横山教之 加藤達也
(監事出席) 石川喜一郎、小六信和
協議事項: 規則・規程の制定について
平成 27 年度意見交換会について
報告事項: 機密抹消国際セミナーについて
新規入会会員について
配布資料 資料 1 理事会運営規則・情報公開規程・個人情報保護規程
資料 2 セミナー参加登録状況(9 月 28 日現在)
資料 3 機密抹消国際セミナー準備状況について

理事総数 4 名のうち 4 名の理事が出席した。事務局が、定款第 34 条に定める定足数を満たしており、本日の理事会は成立することを報告した。

【協議事項】

1 規則・規程の制定について

事務局が、理事会運営規則(案)、情報公開規程(案)及び個人情報保護規程(案)の内容説明を行った。これらの規則及び規程の内容については、原案通り全会一致で承認された。

2 平成 27 年度意見交換会について

事務局が平成 27 年度事業として実施予定の意見交換会について、開催日時を 11 月 26 日 9:30~11:30、会場を東京ウイメンズプラザとする計画概要を説明した。意見交換会のテーマは、「機密抹消国際セミナーについて」及び「自己点検について」の 2 つとし、会議の冒頭で協議会の一般社団法人としての性格を理事長が説明することとした。意見交換会の案内状及び出欠票は、事務局が作成し、全会員にメール送付する。意見交換会の運営責任者は、加藤専務理事とする。

【報告事項】

(機密抹消国際セミナーについて)

事務局が国際セミナーの準備状況について報告した。

● 後援名義

経済産業書及び(公財)古紙再生促進センターの名義使用が承認された。東京都、アメリカ大使館、フランス大使館は申請済み、内閣府への申請は未定である。

● 支援金

セミナー支援金を以下の団体等に依頼しており、(公財)古紙再生促進センター、日本製紙連合会、(株)大久保、(株)大善の承諾が得られた。商工中金、全国製紙原料商工組合連合会、関東製紙原料直納商工組合、全国中小企業団体中央会、全国 RDV システム協議会に依頼済みである。

● 広告(展示)協賛

会員等に広告(展示)協賛という形態でも、支援を呼びかけており、一部の会員等から協力の承諾を得ている。

● セミナーの告知

セミナー用のチラシ 3,000 部及びポスター200 部を印刷し、9 月 7 日に全会員に送付した。また、約 1,300 事業所(銀行、保険会社、信販会社、DM マーケティング会社、機密文書処理会社)にチラシを同封した案内状を送付した。機密文書処理に関連する団体である東京都資源回収事業協同組合及び公益社団法人日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)にセミナー告知を依頼した。

● 実行委員会

旧企画調査部会のメンバーを中心に実行委員会を組織し、会場設営等の準備を進めている。セミナーは、シダックスビレッジ 2F を受付とし、受付後に参加者が 7F 会場に移動する流れとした。運営の詳細は、運営要領を作成する。

● 講師への質問

協議会として、講演に含めてもらいたい内容をあらかじめ講師に情報提供することとした。ヨーロッパの DIN 規格の制定や NAID の認証制度の導入後の市場の変化に関心がある。

(ユーザー会員について)

ユーザー会員の会費が入会の障害になっている場合があるので、無料で入会できるようにすると会員数が増えると思われる。会費規程の改定は、社員総会の決議が必要になる。早急に制度化するのであれば、11 月 26 日の意見交換会を利用して、臨時社員総会を開催することも考えられる。

(新規会員について)

事務局が以下の 3 社の入会を報告した。

- (株)樋口敦郎商店 (正会員)
- (株)山拾村上商店 (正会員)
- 新港リサイクル(株) (正会員)

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事は記名押印する。

代表理事 大久保 薫



理事 昇塚 清謙



理事 横山 教之



理事 加藤 達也



監事 石川 喜一朗



監事 小六 信和

